

名張市立病院だより

創刊号

平成16年1月発行 No.1

発行/名張市立病院

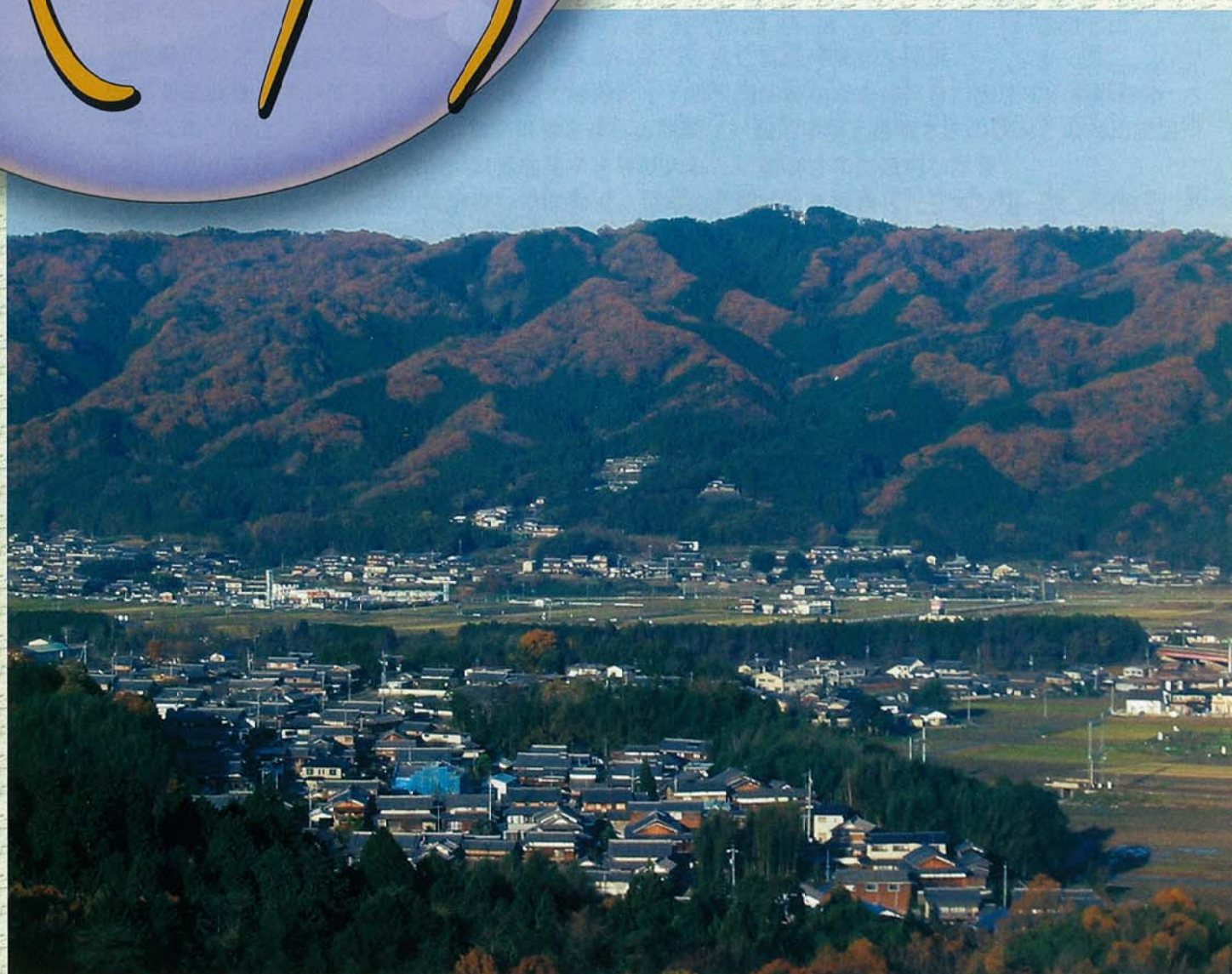
〒518-0481 三重県名張市百合が丘西1番町178番地

TEL 0595-61-1100 (代表) FAX 0595-64-7999

<http://www.city.nabari.mie.jp/hospital/>

e-mail:hp-zimu@city.nabari.mie.jp

きり



名張市立病院の屋上より (撮影：臨床検査室 中西 徹)

<基本理念>

市民の皆様に親しまれ信頼される病院を目指します。

<基本方針>

1. 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づく良質で安心できる医療を行います。
2. 地域の診療所、病院と連携して、地域医療、救急医療の充実に努めます。
3. 地域に開かれた病院を目指し、ボランティア、学生等を進んで受け入れ、市民との交流を深めます。
4. 公共性と経済性を考慮した健全な病院経営に努めます。
5. 初心を忘れず、日々研鑽し、働きがいのある明るい病院を創造するよう努めます。



副院長 本泉 誠

近年、日本でも乳がんが悩まれる患者さまが激増しています。食生活の欧米化や女性の社会進出が主要因と言われていますが、1995年には胃がんを抜いて、乳がんが女性のがん発生率第1位となりました。

日本の乳がんは欧米と比較して、“おとなしい(治り易い)”とされてきましたが、死亡数も増加し、「女性のがん死亡数」(1999年)の第5位となっています。厄介なことに、がんが小さくても、既に全身に転移している症例、逆に手術後10年、20年を過ぎてから再発してくる症例も稀ではなく、悪性度も欧米化しているようです。

そのような現状を受けて当院では、

- ①羞恥心などで受診が遅れないように女性医師による「女性乳腺外来」を開設
- ②超音波検査・マンモグラフィ(乳房のX線撮影)・吸引細胞診などを初診日に実施する早期診断
- ③がんの“個性”をおろそかにしない患者さまへの説明(一般的事項と患者さまの状況との対比説明)
- ④地方の小規模病院ではあるが、世界的基準を取り入れた“患者さまに適切な診察”
- ⑤マニュアルによる“流れ作業治療”ではなく、がんの“個性”を重視した“マンツーマン治療”

などで、早期発見・早期治療、そして、長いがん治療との戦いのサポートを展開します。

乳がんとは? ~乳がん治療のメインは、「手術」だけではない!!~

乳房は、母乳を作り出す「腺房」と母乳が運ばれる道の「乳管」より構成されていますが、乳がんのほとんどは、「乳管」内面の上皮細胞から発生します。

がん細胞が増殖すると、「乳管」の壁を破り、周囲にがん細胞の“かたまり”を作ります。大きくなると、これが乳房の“しこり”として触れます。

一方、「乳管」の内側に剥がれたがん細胞は、「乳管」の中を通過して、他の「乳管」に着床し、新たに増殖を開始します(「乳管内進展」)。がん細胞が、「乳管」の外に顔を出すと、全身転移を引き起こす能力を獲得します。このため、小さいうちから全身に転移する場合も珍しくありません。乳がんが、“全身病”と言われる理由です。がんの発生には、多数の遺伝子が複雑に絡み合って発生するため、同じようながんでも進行や回復の度合いが異なり、様々な結果をもたらしてしまいます。更に、乳腺は女性ホルモンの刺激で発育・機能しますが、乳がんも約半数の割合で女性ホルモンによる増殖促進の影響を受けています(「ホルモン感受性」)。これらが重なって、乳がんの多様性(がんの個性)を引き起こしています。

かつて、乳がん治療は『手術』が全てでしたが、

現在では、女性ホルモンを抑制する「ホルモン療法」、抗がん剤による「化学療法」、放射線を利用した「放射線療法」が加わり、『手術』は治療の一部分に過ぎなくなりました。

症状が比較的軽いケース(“しこり”が最大径3cm以下で、「乳管内進展」の少ないケース)には、「乳房温存療法」(乳房の部分切除。乳がん手術の2~4割を占め、術後は放射線治療を行う。)で治療を行い、それ以外には「胸筋温存乳房切除術」(筋肉切除までは行わない)を行います。症例によっては、乳房を再建する手術なども行っています。

その後、「切り取った乳房の組織検査(危険度の判定)」、「リンパ節への転移の有無」・「ホルモン感受性の有無」・「閉経前・後」などの情報をもとに、「ホルモン療法」、「化学療法」、「放射線療法」のプランを決定します。

「ホルモン療法」や「化学療法」の最近の進歩はめざましく、生存率向上に大きく貢献しています。



2003年12月11日、名張市立病院の山門 徹(やまかど てる)院長にインタビューしました。

記者：まず、市民の皆さまにご挨拶をお願いいたします。

山門：平成15年4月1日付で、小坂前院長の後を受け、名張市立病院長に就任いたしました山門 徹(やまかど てる)です。今後、市立病院の充実のため、力を尽くす所存でございますので、よろしくお願ひ申し上げます。

記者：院長として忙しい毎日ですが、休日などはどのようにお過ごしですか。

山門：時間に余裕があるときは、のんびりしていることも多いですね。学生時代は山岳部で、年間120日ぐらい山へ行っていた時期もありますし、カラコルム(注：パキスタンにある地

域)へも、山登りに行ったこともありました。そんなことで、今でも時々近郊の山を中心に楽しんでいきます。それから、スポーツ観戦も好きで、休日はテレビの前から一歩も動かないこともあります(笑)。あとは本を読みますが、笑。文庫本を中心に数十冊積んでおいて、その日、その時、気に入ったものを読む気ままな読書です。

記者：院長としての基本方針をお聞きしたいと思います。山門院長は、名張市立病院を今後どのような病院にしたいとお考えですか。

山門：「市民の皆さまに親しまれ信頼される病院を目指します。」これは今後の名張市立病院のあり方を考えるに当たり、新たに掲げました基本理念です。一見、平凡ですが、本当にこのよ

1. 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づく良質な医療を提供できる医療を行います。
2. 地域の診療所、病院と連携して、地域医療、救急医療の充実に努めます。
3. 地域に開かれた病院を目指し、ボランティア、学生等を進んで受け入れ、市民との交流を深めます。
4. 公共性と経済性を考慮した健全な病院経営に努めます。
5. 初心を忘れず、日々研鑽し、働きがいのある明るい病院を創造するよう努めます。

病院が良くなるかは、最終的には「人」によるのではないかと思います。すべての病院職員が、良き医療人になるように研鑽し、努力する環境づくりが不可欠です。ひいては、それが「患者さまに良いサービスを提供できる」という思いで、基本方針の最後に付け加えさせて頂いております。

皆さま方のご協力を得ながら、これらのことをが達成できるように、一歩ずつ前進したいと思っています。

創刊特集

…病院長の目指すもの

12月11日にインタビューしました。

「市民の皆さまに親しまれ信頼される病院づくり」

名張市立病院 院長 山門 徹

TETSU YAMAKADO
山門 徹



<略歴>

- ・昭和23年11月27日生まれ
- ・昭和49年 3月 三重大学医学部卒業
- ・昭和49年 4月 東京虎ノ門病院内科勤務
- ・平成 2年10月 三重大学医学部講師(第1内科)
- ・平成 9年 4月 名張市立病院副院長
- ・平成13年 三重大学医学部臨床教授
- ・平成15年 4月 名張市立病院院長就任
- 現在、日本心臓病学会評議員、日本内科学会専門医、日本循環器学会専門医など。

平成16年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。さて早いもので、市立病院の開院から今年で7年が過ぎようとしています。ここに新ためて、院内における臨床検査室の業務の一端をご紹介します、また今後の抱負についても少々述べさせていただきます、新年のご挨拶とさせていただきます。

臨床検査室は、その専門性から大きく「検体検査部門」と「生理検査部門」に分けられています。「検体検査部門」では血液検査、生化学検査、尿・便検査、輸血検査、病理組織検査などを行い、「生理検査部門」では心電図検査、超音波検査、脳波検査などを行っています。そして、これらの検査結果は、医師が行う疾病の診断や治療、経過観察など、患者さまの病態把握に重要な情報となっています。また、急性期医療を担う病院の検査室として、その運営方針のひとつである『治療のタイミングに合った結果報告』を合言葉に、迅速検査や夜間・休日検査(24時間365日体制)に少数のスタッフながら積極的に取り組んでいます。ちなみに、平成12年度の夜間・休日の検査件数は約55,000件、平成13年度は約59,000件、平成14年度では約69,000件と毎年着実に増加しており、診療における検査の必要性は益々高まっていく傾向にあります。このような現状のなかにあつて、今後さらに「検体検査部門」では生産精度と効率化の向上、「生理検査部門」では検査項目の充実を図り、患者さまに良質かつ適切な検査情報を提供したいと考えております。また、在宅医療の推進や地域住民の予防医学への貢献など、地域医療の向上振興に向けても検査室の立場からその役割を果たして行きたいと思っております。

年の初めにあたり、決意を新たにするとともに、検査室の運営に対し皆さま方の一層のご支援とご理解をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



臨床検査室長 高橋 勝美

Q and A コーナー MR検査とCT検査って、どう違うの？

「MRの方がCTよりよく分かるのですか?」、という質問をよく受けます。疾患・部位・診断目的などによって、「MR検査」が適しているときもありますし、「CT検査」が適しているときもあります。また、両方の検査を行って診察することで、よく分かることもあります。

「MR検査」は、体の中の水分(正確には水素原子)の密度やその存在状態を、強い磁場の中で映像にするものです。一般に脳、中枢神経、関節などの診断には大変有効です。軟部組織(脳・内臓・筋肉など)のわずかな違いが分かりやすく、放射線を用いないことから被曝の心配がありません。しかし、その反面、信号が弱く、また、狭い空間に入らなければならないため、撮影時間が長くなります。これは状態の悪い方や呼吸、拍動で動く臓器の検査には不向きです。

一方、「CT検査」は、X線の吸収の程度を映像化するもので、撮影時間も短く解像力も優れ、軟部組織や骨だけでなく出血も映像化できます。また、広い範囲を一度に撮影でき、様々な疾患が検査対象になり日常診療はもとより、救急医療では欠かせない存在です。従来、輪切りの写真しかできなかった「CT検査」が最近の装置では画像処理により、色んな方向からの断面や立体的表示が可能となり、さらに応用が広がっています。

(回答者:放射線室長 中西 篤)



写真(上):MR(首)



写真(下):CT(脳)

安心して受診いただける病院づくり

市民の皆さま、こんにちは。名張市立病院も、皆さまの温かいご支援やご協力のおかげで大過なく7年目を迎えることができました。誠に、ありがとうございます。

当院は、365日24時間体制で救急患者さまを受け入れ、「時間が勝負」の緊急検査・手術の対応や緊急入院など、市民の皆さまには非日常的なことがいつも行われているところでもあります。

ややもすると、業務に走り勝ちになってしまいますが、何事も患者さま中心に考えております。そして、私たち看護師は、患者さまやご家族の皆さまが安心して受診していただける病院づくりをめざして努力しております。

次に、私たちが心がけて病院づくりをしていることを2点述べたいと思います。

1. まず、患者さまの環境を大切にしています。見た目にもきれいで清潔であること、色々な臭いが気にならないなど病院内の環境を整えるには、まず清掃です。外来患者さまや入院患者さまの療養環境を整えるためにも清掃は重要です。ホコリをたてない拭き掃除の工夫と、床などに消毒剤等は使用しない安全な方法で清掃を行っております。
2. 患者さまやご家族の方との十分なコミュニケーションを大切にしております。初めて受診される患者さまの不安なお気持ちや突然入院される患者さま・ご家族の方のお気持ちを十分に汲み取れるように職員一同努力しております。

私たち看護師が、大切にしていることは沢山ありますので、また少しずつこの紙面をおかりして皆さまに知っていただき、ご意見・ご要望をいただけることを願っております。



看護部長 藤田 せつ子

今回の キコウリ な人



総合案内
INFORMATION
リスクマネジメント担当
看護師長 森崎 宗子

「病院を訪れる方たちのコンシェルジュ(注)」が、それが患者さまの相談とリスクマネジメント担当の私の役割と思ひ、総合案内に立っております。毎日、病院を訪れる方々の表情や姿を拝見し、必要なケアを受け、満足して頂いているか、苦痛は軽減なさっているか、などと思いを馳せています。

「患者さまの安全と安楽を守り、その方らしく生きること」を支えるケア」と「人の持つ自然治癒力を発揮できる環境を整えるケア」を目標としておりますが、日々の業務に追われ、私たちの理想とするケアと現実のギャップに苦しむ毎日であります。「患者さまの求められるケア」と「提供できるケアや病院の役割」の狭間で、日々揺れ動いております。皆さまの声と笑顔を糧に、今日も「おはようございます」と総合案内でお待ちしております。

*注:コンシェルジュ
お客さまへの各種案内・手配業務・相談などに
きめ細やかに応じるスタッフのこと。

診断書・証明書等の文書発行について

文書の発行については、1階総合受付の『証明書等受付』窓口へ申請して下さい。おき上がりは、申請を頂いてから約1週間程度の日数が必要となります。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。



女性専門外来の設置について

女性の心理に配慮した、女性医師が担当する“女性のための外来”を平成15年12月から開始しています。

- (内 容) ・乳がん、その他の乳腺疾患
奇数週の木曜日：午後1時～午後3時30分
・直腸、肛門の疾患
偶数週の木曜日：午後1時～午後3時30分
- (予 約) ・医療機関からの紹介又は電話で予約して下さい。
専用電話：0595-61-1344
- (受付時間) 毎週月～金曜日 午後1時～午後4時
(土・日・祝日、年末年始を除く)



予約変更受付電話の一本化について

平成15年12月より、予約変更受付の専用電話が設置されました。なお、眼科・小児科・リハビリテーション科の予約変更については、従来どおり各科受付窓口へお電話下さい。

- 専用電話：0595-61-1344
- 受付時間 毎週月～金曜日 午後1時～午後4時(土・日・祝日、年末年始を除く)



「診断書・証明書等の文書発行について」・「女性専門外来の設置について」・「予約変更受付電話の一本化」の以上3項目について、ご不明な点は、市立病院医療事務室(0595-61-1100)までお問い合わせ下さい。

編集後記

患者さまからのご意見

Q：健康増進法が施行されましたが、市立病院ではタバコの禁煙対策など何か具体的な取組みをしているのですか？

A：ご意見ありがとうございます。当院では、健康増進法が施行されたことに伴い、次のような取組みを実施しております。

- 病棟(2階～5階)
平成16年1月5日より全面禁煙
- 喫煙場所
院内：1階外来の喫煙室
院外：バス停留所
- タバコの販売
平成16年1月5日より自動販売機での販売はいたしておりません(売店では販売しております)。

引き続き、皆さまのご理解・ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

全国の自治体病院が集う学会が、今年は若手県で行われました。テーマは、「おらほの病院」でした。「おらほの」とは、東北の方言で、「私たちの」という意味ですが、愛情・誇り・身内意識など、患者さまの病院に対する思いを込めた表現だそうです。この「きらり」の創刊にあたり、当院の基本理念である「市民の皆様が親しまれ信頼される病院」の創造に、少しでも貢献できればと考えています。

慣れないスタッフばかりでしたが、創刊号を新春号として発行でき、感謝です。原稿を協力して下さいました皆さまに感謝申し上げます。これからも、市民の皆さまの声を反映できるような病院づくりと『きらり』と光るような誌面づくりをしていきたいと思っております。

「スタッフひとりひとりが患者さまのために日々頑張っている姿」をイメージして、『きらり』という名前に、大粒・小粒、名張市立病院には、たくさん『きらり』がスタッフとして日々患者さまのために頑張っています。

(T・N)

(M・H)

栄養科のご案内

栄養科では、患者さまの病状に応じて「適切でおいしい満足感のある“食”」を心掛け、給食業務を行っています。患者さまの多くは、食べることが治療につながり、健康を取り戻すためにはとても大切なことです。生活習慣病による糖尿病・心疾患・脳血管障害などの方には、食事療法の必要性を理解していただき自己管理できるよう栄養指導を行います。また、治療により食欲低下している方や高齢にともなう摂食障害により栄養状態の低下した方には、ベットサイドへ管理栄養士がうかがい、患者さまの嗜好を聞き取り、個人対応できる体制をとっています。スタッフ一同、患者さまに気持ち良く食事していただけるように日々取り組んでいます。

業務内容

- ★ 適時適温給食サービス
- ★ 選択食メニューの実施
- ★ 行事食の実施
- ★ 病状や嗜好に配慮した個人対応
- ★ 「栄養科だより」の発行
- ★ 外来・入院患者栄養相談
- ★ 介護老人保健施設「ゆりの里」の栄養管理



外来・入院患者栄養相談

患者さま個々に応じた食事療法について継続的に指導します。月曜日～金曜日までの毎日(予約制)

腎臓病集団指導

腎不全の治療に大切な食事療法について医師と栄養士が基本的なことを指導します。(1コース3回予約制)

糖尿病集団指導

糖尿病の食事療法について指導します。基本的に初回の方を対象とします。(月2回予約制)

キッズ diet club

学童期からの健康教育を目的に肥満症対策や予防について指導します。(夏休み期間中2回)

～シミを消す!? 超簡単レシピ～
βカロテンたっぷりスープ

材料(1人分)

- ブロッコリー 大1/2個
- 玉ねぎ 1/5個
- 牛乳 100ml
- コンソメ 1個
- 塩・こしょう 少々



<作り方>

- ① ブロッコリー、玉ねぎを鍋に入れ、ひたひたの水を加えて、中まで火が通るぐらいに煮る。
- ② ①を汁ごとミキサーに入れる。
- ③ だろろろ状になったものを鍋に戻し、コンソメを加えて少し煮てから、塩・こしょうで味をととのえ、牛乳を加えて仕上げる。
- ④ 最後に生クリームもしくは粉チーズを加えるとコクがでる。

βカロテンは体内でビタミンAに変わります。ビタミンAは、肌みずみずしさやハリをよみがえらせ、肌荒れや小ジワを解消するビタミン。肌に塗っても効く美肌には欠かせない成分です。また、それだけではなく、βカロテンはシミやしわの原因となる活性酸素を消去する働きがあります。

よくある質問

Q. 1日のうちで、体脂肪率が変動するのはなぜ？

A. 最近家庭でも体脂肪計が普及し、体脂肪率を毎日測る方が増えています。まず、体脂肪の測り方から説明しますと、家庭用の体脂肪計の多くは、電気を使って骨や筋肉の量を測ることで脂肪の量を体重から逆算しています。脂肪は電気をほとんど通しません、水はよく通します。筋肉や血液は水分を多く含むため電気をよく通します。そこで、体に電気を流し、通り具合から脂肪量を判断します。

しかし、この数字にはかなり変動があり(日内変動)一喜一憂される方も少なくはありません。

実際、体脂肪量は朝と夜で変動はありませんが、重力との関係で体の水分は、夕方になると足の方に集まるので下半身の電気の通りが良くなり、朝より低く計測されます。時間を決めて測定するといいでしょう。



外来診療担当表

平成16年1月5日現在

科目	曜日	月		火		水		木		金	
		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
内科 循環器科	第1診	●山門		●小坂		●櫻井		山門		石須	
	第2診	倉地		●岡本		●石須		我山		小坂	
	第3診	●我山		山門		山中		●谷口		伊藤	
	第4診	●岡本				岡本	堅村(*4)	●岡本		●山中	
	第5診	石須		石須(*1)		我山		櫻井		●倉地	
	第6診					堅村(*5)				谷口(*3)	
	泌尿器 外来	木瀬(*3)				鈴木(*3)					
外科	第1診	本泉	本泉	竹内	浦田 又は 和久田	本泉	本泉	竹内	本泉	本泉	和久田
	第2診	浦田		浦田 又は 和久田		和久田		浦田	和久田(*6)	浦田 又は 和久田	
脳外科	第1診	竹嶋		平松		平松		竹嶋・丘田		丘田	
	第2診					竹嶋					
整形外科	第1診	園田		西田		飯田		大角		竹原	
	第2診	竹原		園田		大角		飯田		西田	
	第3診	西田		飯田		竹原		園田		大角	
小児科	第1診	登		細木		太田	太田(*2)	太田		細木	細木(*2)
	第2診	太田									
眼科	第1診	中世古	(検査) (*2)	中世古	(検査) (*2)	中世古		中世古	(検査) (*2)	中世古	(検査) (*2)
	第2診										

- …初診外来
- (*1) …ペースメーカー外来 (1月・4月・7月・10月の第3週のみ)
- (*2) …外来特殊
- (*3) …診察室は小児科3診
- (*4) …第1水曜日以外
- (*5) …第1水曜日のみ。診察室は小児科2診
- (*6) …女性専門外来

人事異動等により変更になる場合があります。下記ホームページの外来診療予定表をご覧ください。お電話でお問い合わせ下さい。

受付時間 (月～金)

《予約のない方》 午前8時30分～午前11時30分
 《予約のある方》 午前8時00分～予約終了時刻まで

保険証等は

保険証・医療証等は、月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出下さい。

名張市立病院

〒518-0481 三重県名張市百合が丘西1番町178番地
 TEL 0595-61-1100(代表) FAX 0595-64-7999

http://www.city.nabari.mie.jp/hospital/
 e-mail:hp-zimu@city.nabari.mie.jp

ご意見・ご感想などをお寄せください。



交通手段

<電車>

近鉄大阪線 名張駅 東口 下車

<バス>

市立病院行…名張駅東口～国道百合が丘～市立病院

百合が丘線…名張駅東口～国道百合が丘～百合が丘西又は公園前